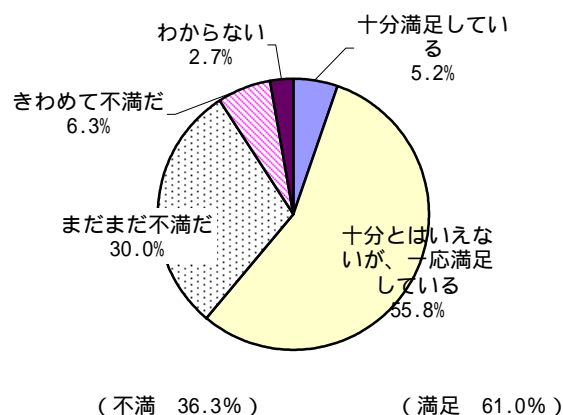


問6 暮らしに対する満足度

あなたは、現在のお宅の暮らしに満足していますか。それとも不満ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

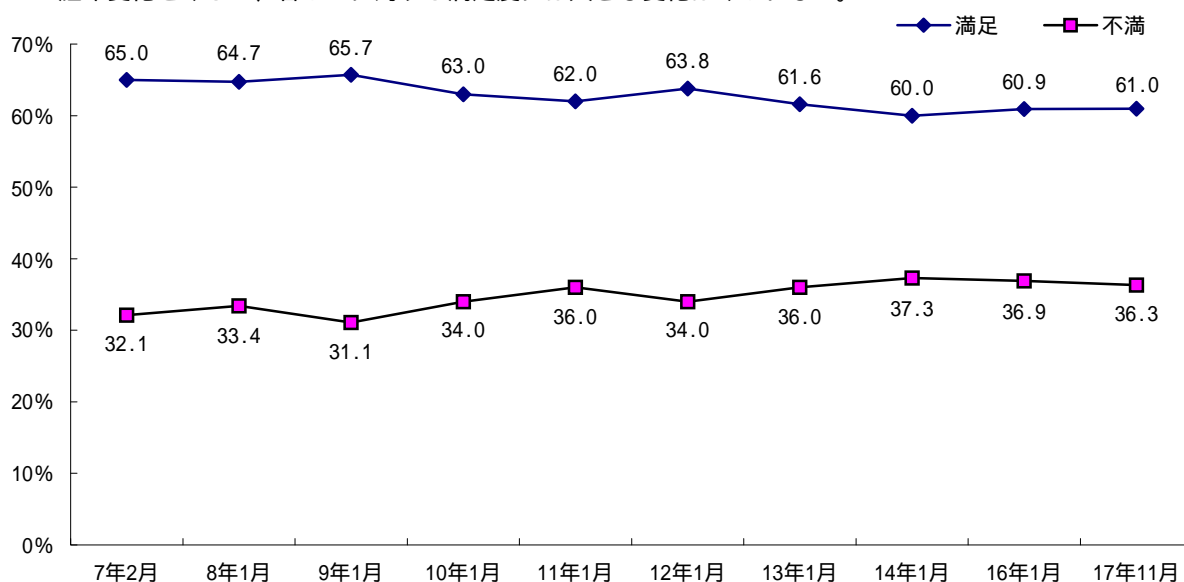
	(%)
1 十分満足している	5.2
2 十分とはいえないが、一応満足している	55.8
3 まだまだ不満だ	30.0
4 きわめて不満だ	6.3
5 わからない	2.7

現在の暮らしに満足しているか、それとも不満かを聞いたところ、「満足」と答えた人の割合が61.0%（「十分満足している」(5.2%)及び「十分とはいえないが、一応満足している」(55.8%)）と、「不満」と答えた人の36.3%（「まだまだ不満だ」(30.0%)及び「きわめて不満だ」(6.3%)）を大きく上回っている。



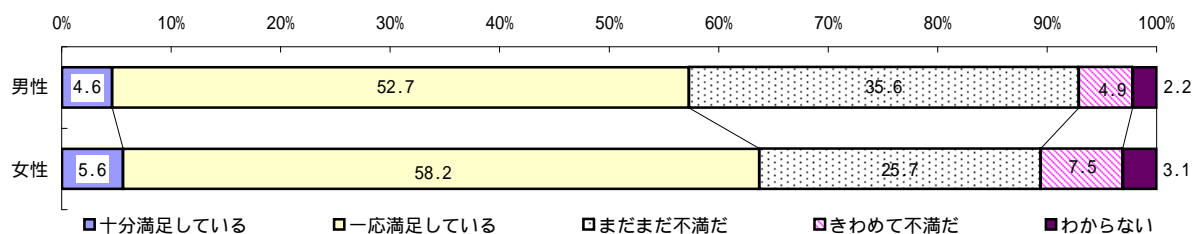
【経年変化】

経年変化をみると、暮らしに対する満足度には大きな変化はみられない。



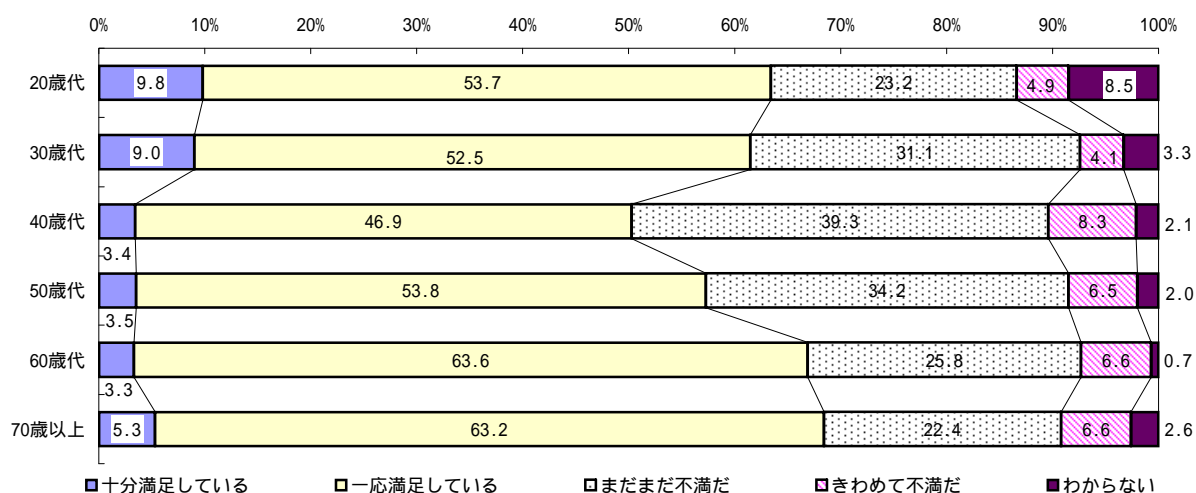
【性別】

性別にみると、「満足」と答えた人の割合は、男性で57.3%、女性で63.8%と、暮らしに対する満足度は、女性の方が6.5ポイント高くなっている。



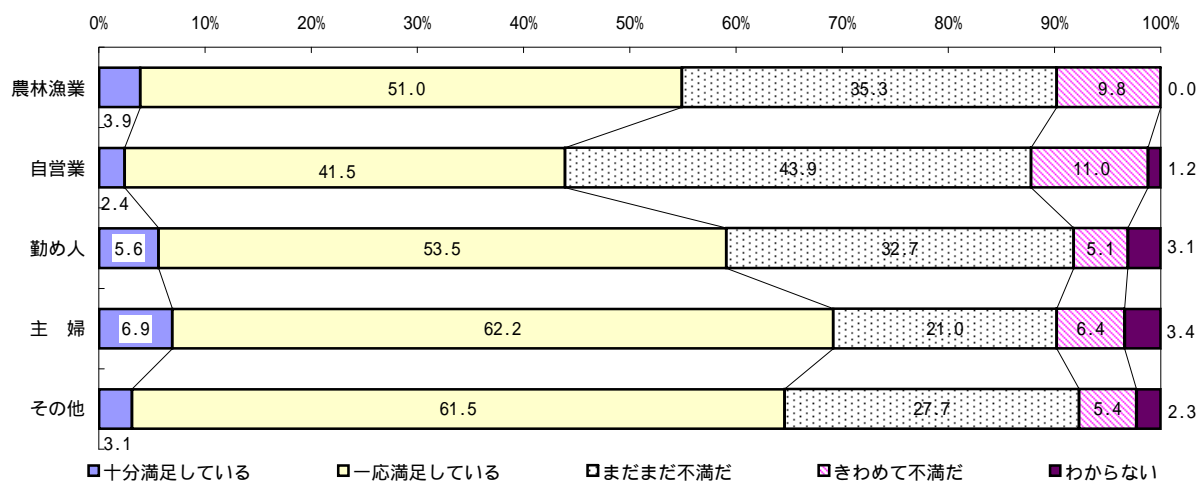
【年齢別】

年齢別にみると、「満足」と答えた人の割合は、70歳以上（68.5%）で最も高く、以下60歳代（66.9%）、20歳代（63.5%）の順となっており、40歳代（50.3%）で最も低くなっている。



【職業別】

職業別にみると、「満足」と答えた人の割合は、主婦（69.1%）で最も高く、自営業（43.9%）で最も低くなっている。



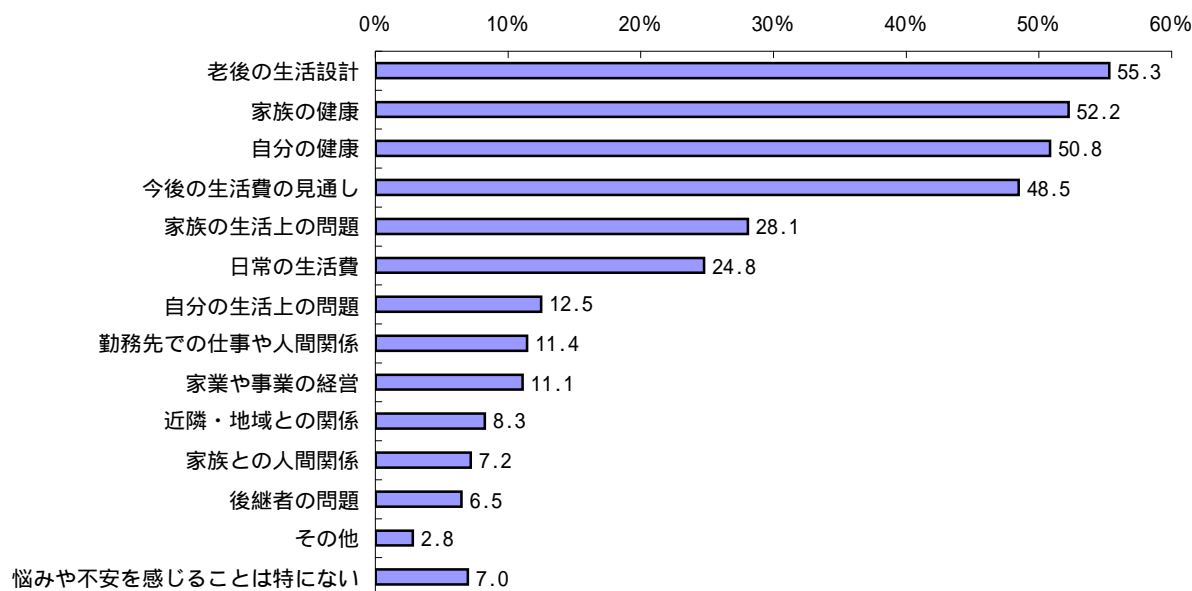
問7 日常生活での悩みや不安

あなたが、日常生活の中で悩みや不安を感じていることがあれば、次の中からいくつかでも選んで番号を で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 自分の健康について		50.8
2 家族の健康について		52.2
3 自分の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		12.5
4 家族の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		28.1
5 日常の生活費について		24.8
6 今後の生活費の見通しについて		48.5
7 後継者の問題(家業、農林漁業の将来)について		6.5
8 家業や事業の経営(農林漁業を含む)について		11.1
9 家族との人間関係について		7.2
10 近隣・地域との関係について		8.3
11 勤務先での仕事や人間関係について		11.4
12 老後の生活設計について		55.3
13 その他		2.8
14 悩みや不安を感じることは特にない		7.0

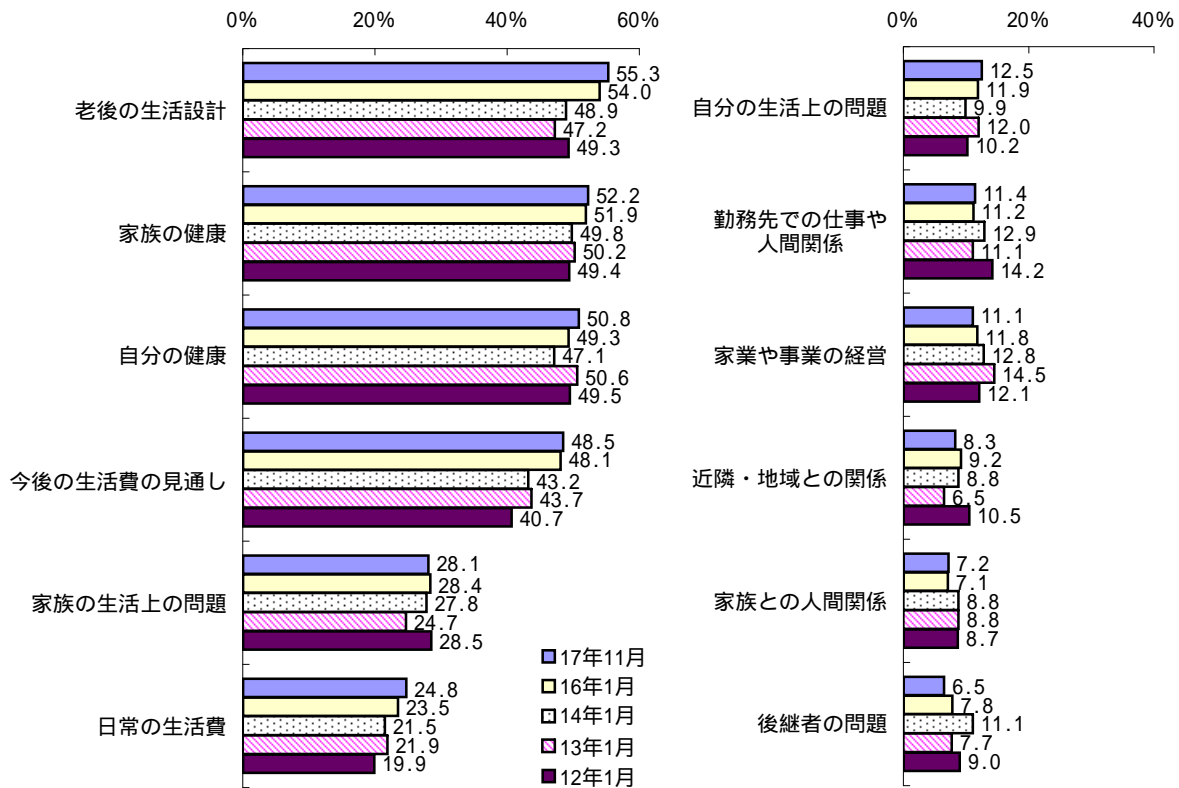
日常生活の中で悩みや不安を感じていることがらを聞いたところ、「老後の生活設計について」と答えた人の割合が55.3%と最も高く、以下「家族の健康について」(52.2%)、「自分の健康について」(50.8%)、「今後の生活費の見通しについて」(48.5%)の順であり、悩みや不安の多くは健康や将来の生活に関することとなっている。

なお、「悩みや不安を感じることは特にない」と答えた人の割合は7.0%であった。



【経年変化】

経年変化をみると、悩みや不安の上位の項目は、平成12年調査以降、大きな変化は見られないが、「老後の生活設計」及び「今後の生活費の見通し」が増加傾向にある。

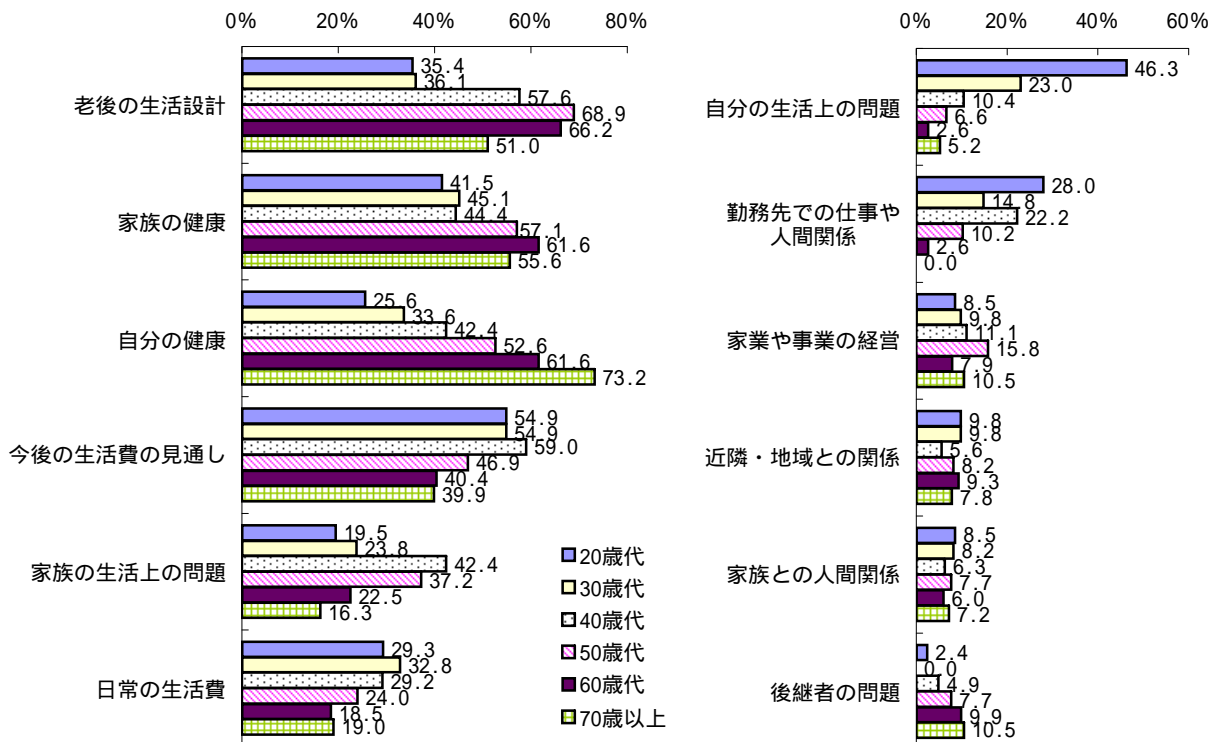


【年齢別】

年齢別にみると、「自分の健康について」は、年齢層が高いほど高く、70歳以上では73.2%を占めている。

また、「老後の生活設計について」は50歳代で68.9%、「今後の生活費の見通し」は40歳代で59.0%と、それぞれ他の年齢層と比較して高く、30歳代から50歳代で、将来の生活面での悩みや不安を感じている人が多いことがうかがえる。

年齢別に悩みや不安の第1位をみると、20歳代・30歳代・40歳代では「今後の生活費の見通し」が高く、50歳代、60歳代では「老後の生活設計」、70歳以上では「自分の健康」となっている。

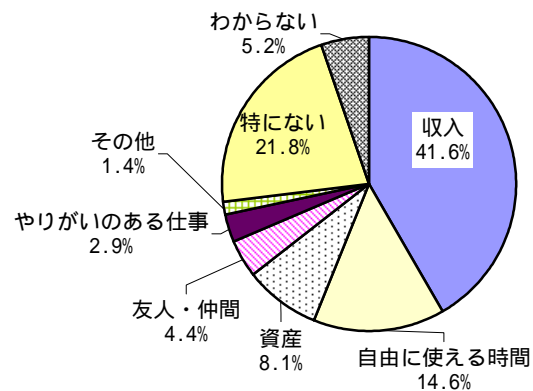


問8 普段の生活で不足しているもの

あなたが普段の生活の中で最も不足していると思うものはなんですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

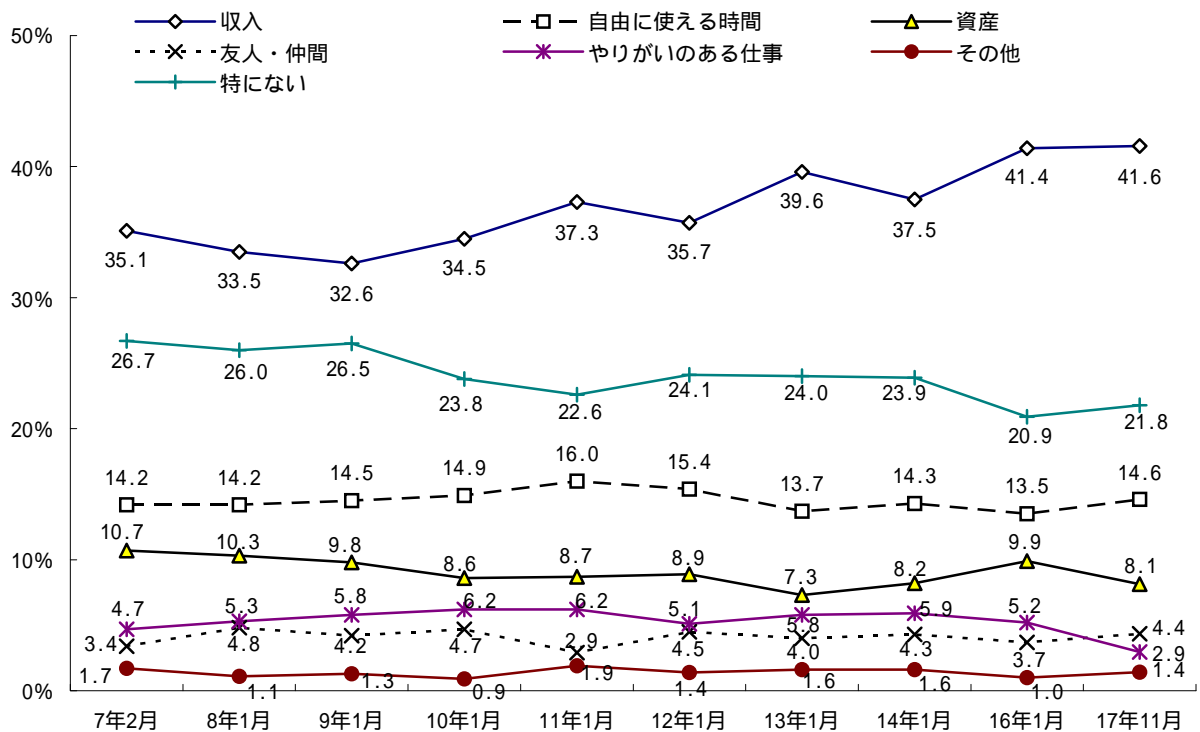
	(%)
1 自由に使える時間	14.6
2 収入	41.6
3 資産(土地、家屋、預貯金等)	8.1
4 やりがいのある仕事	2.9
5 友人・仲間	4.4
6 その他	1.4
7 特にない	21.8
8 わからない	5.2

普段の生活の中で最も不足していると思うものを聞いたところ、「収入」と答えた人の割合が41.6%と特に高く、以下「自由に使える時間」(14.6%)、「資産(土地、家屋、預貯金等)」(8.1%)などの順となっている。なお、21.8%の人は「特にない」と答えている。



【経年変化】

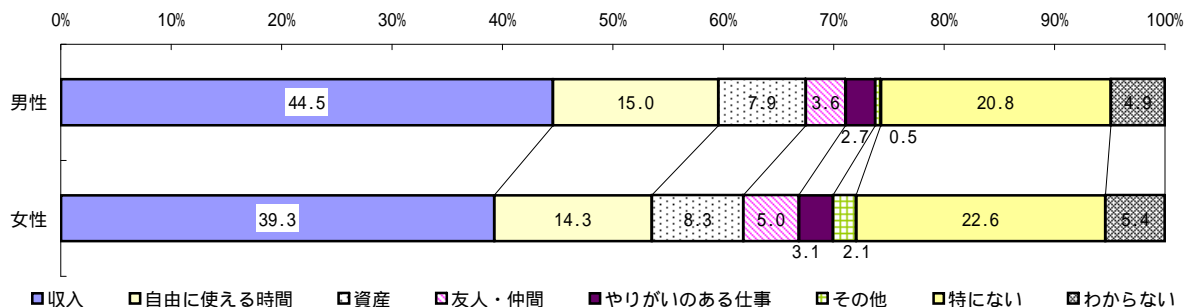
経年変化をみると、平成7年調査以降、「収入」が不足していると答えた人の割合が最も多く、また増加傾向にある。



【性別】

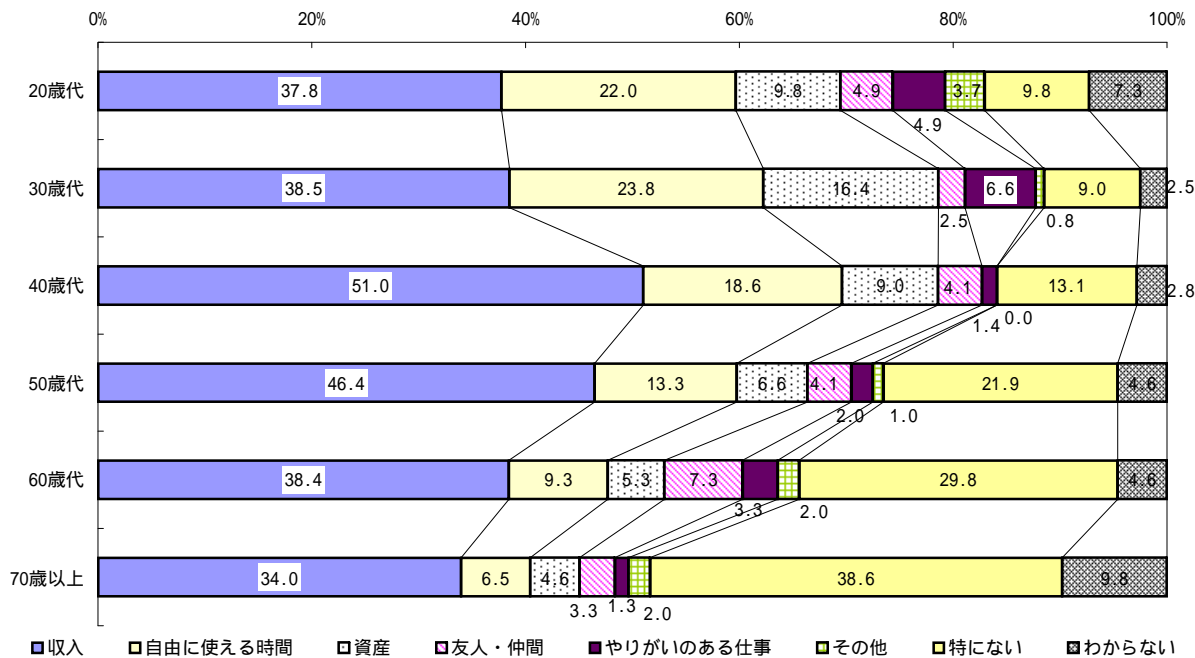
性別にみると、男性、女性ともに「収入」と答えた人の割合が最も高く、男性（44.5%）の方が女性（39.3%）より5.2ポイント高くなっている。

普段の生活の中で、不足しているものが「特にない」と答えた人の割合は、女性（22.6%）の方が男性（20.8%）より1.8ポイント高いが、前回調査（8.9%）より差が縮まっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20～60歳代では「収入」と答えた人の割合が最も高く、40歳代では51.0%と過半数を超えている。70歳以上では、不足しているものは「特にない」と答えた人が38.6%を占め、「収入」以外の項目について不足しているとする人の割合は低い。

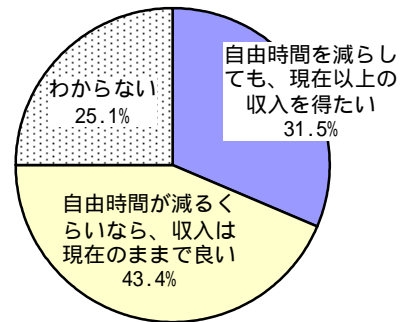


問9 自由時間と収入についての考え方

あなたは、自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思いますか。それともそうは思いませんか。あなたの考えはどちらに近いですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

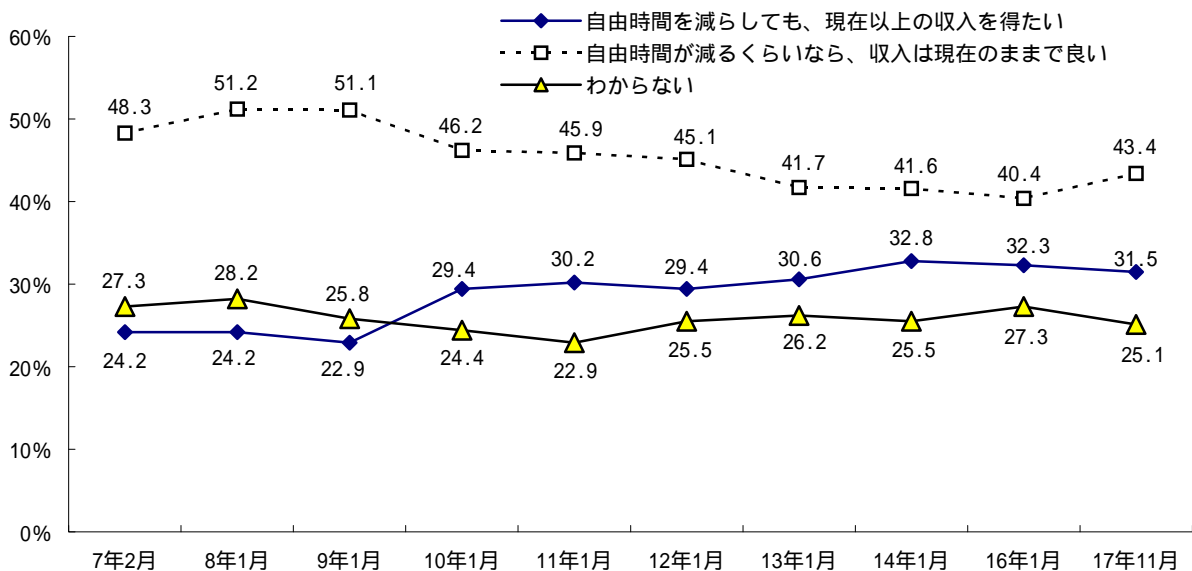
	(%)
1 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい	31.5
2 自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い	43.4
3 わからない	25.1

自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思うか、それともそうは思わないかを聞いたところ、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が31.5%、一方「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が43.4%と、自由時間を重視する人の方が多くなっている。



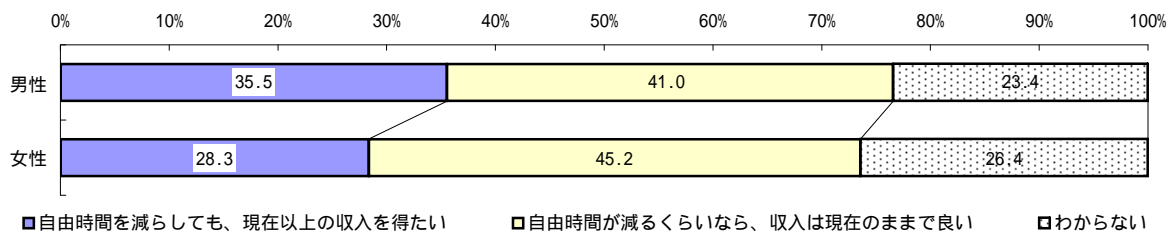
【経年変化】

経年変化をみると、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」（43.4%）と答えた人の割合が「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」（31.5%）と答えた人の割合を上回っており、自由時間派と収入派の差は11.9ポイントと、前回調査に比べて3.8ポイント広がっている。



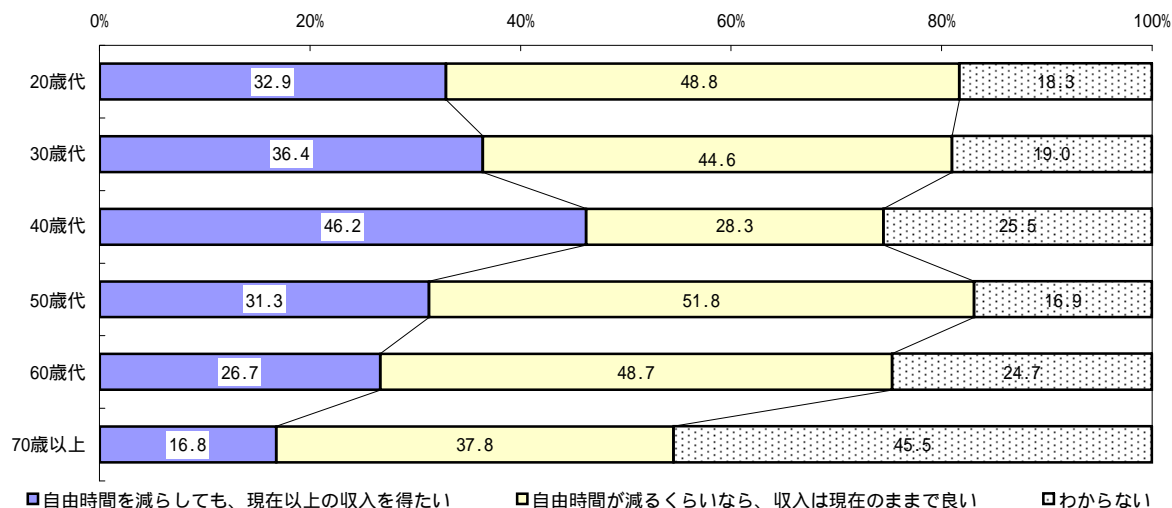
【性別】

性別にみると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は、男性（35.5%）の方が女性（28.3%）に比べて7.2ポイント高くなっている。



【年齢別】

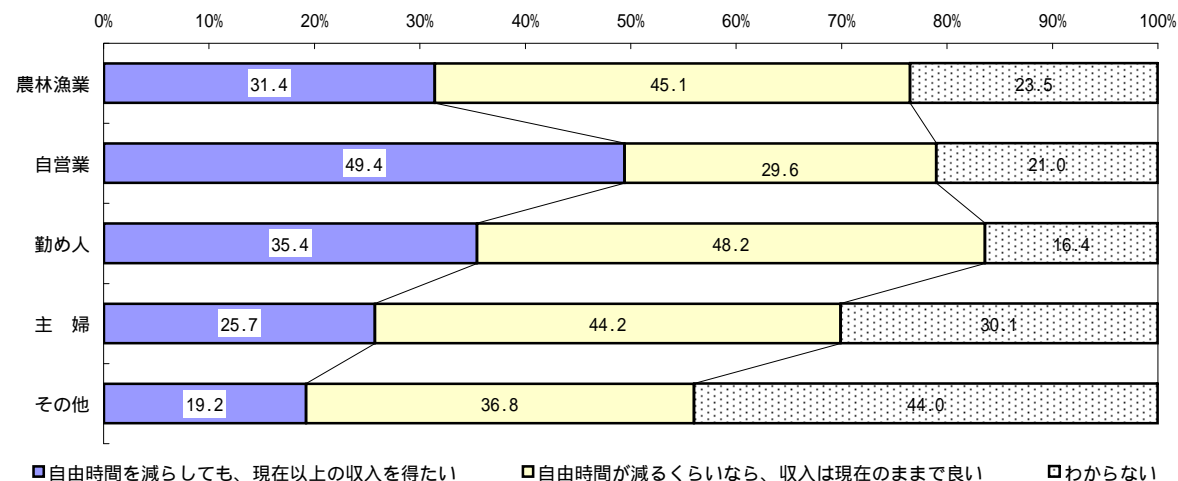
年齢別にみると、40歳代を除き、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が高くなっている。また、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は70歳以上（16.8%）で最も低くなっている。



【職業別】

職業別にみると、自営業においては「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が高くなっている。

そのほかは、農林漁業、勤め人、主婦とも「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が高くなっている。

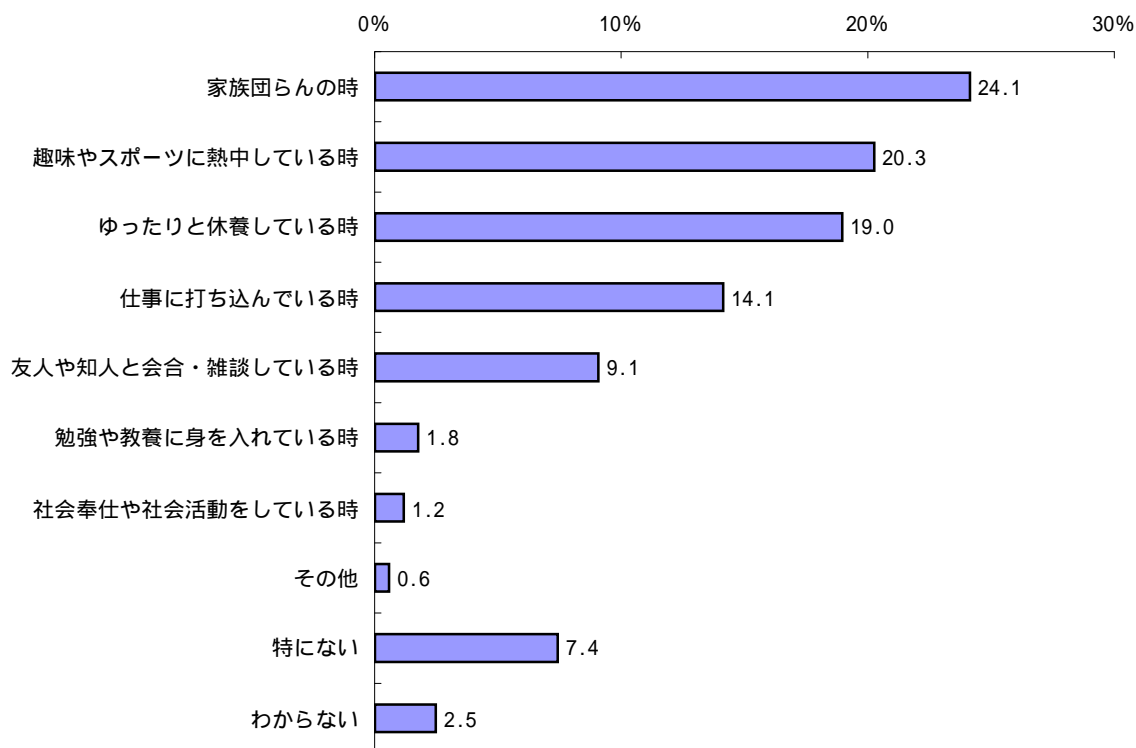


問10 日常生活で充実感を感じる時

あなたは、日ごろの生活で充実感を感じるのは主にどのような時ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

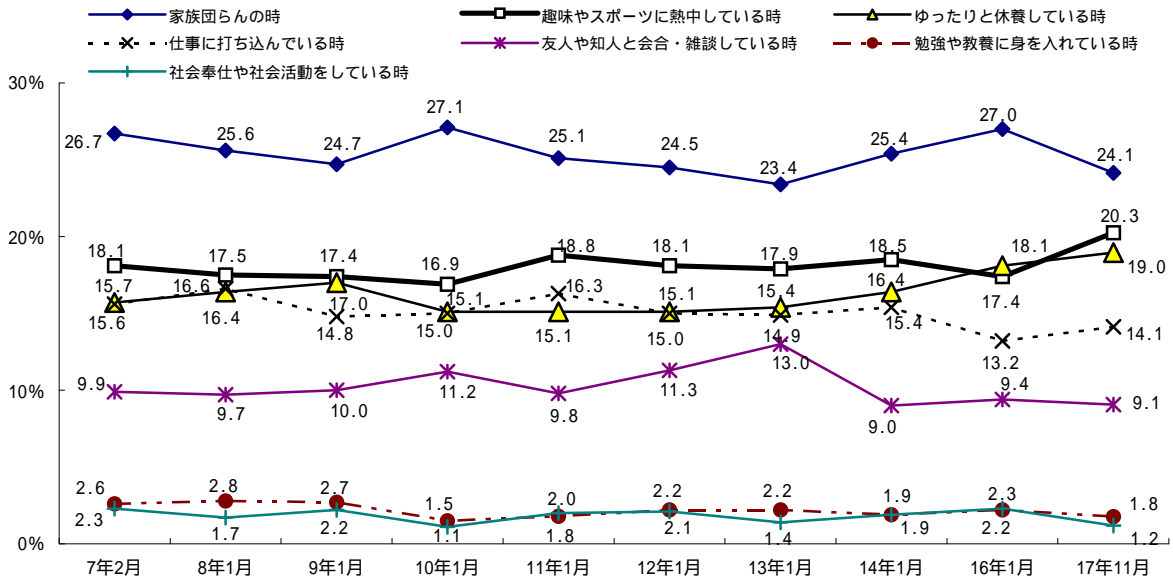
	(%)
1 仕事に打ち込んでいる時	14.1
2 勉強や教養に身を入れている時	1.8
3 趣味やスポーツに熱中している時	20.3
4 ゆったりと休養している時	19.0
5 家族団らんの時	24.1
6 友人や知人と会合・雑談している時	9.1
7 社会奉仕や社会活動をしている時	1.2
8 その他	0.6
9 特にない	7.4
10 わからない	2.5

日頃の生活で充実感を感じるのはどのような時かを聞いたところ、「家族団らんの時」と答えた人の割合が24.1%と最も高く、以下「趣味やスポーツに熱中している時」(20.3%)、「ゆったりと休養している時」(19.0%)、「仕事に打ち込んでいる時」(14.1%)、「友人や知人と会合・雑談している時」(9.1%)などの順となっている。



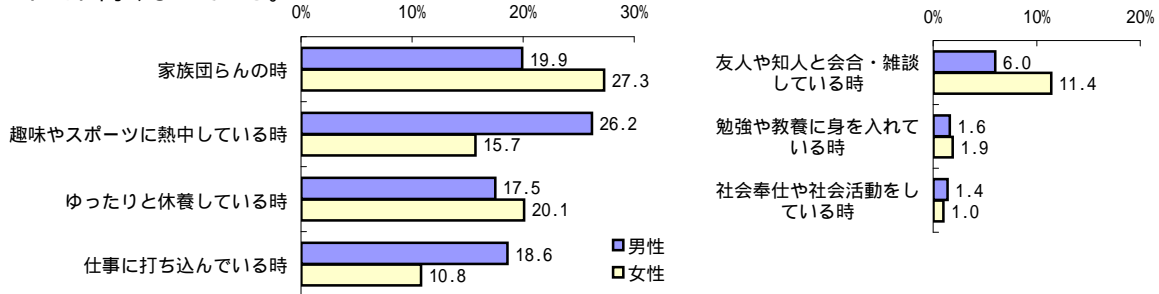
【経年変化】

経年変化をみると、「趣味やスポーツに熱中している時」が2.9ポイント、「ゆったりと休養している時」が0.9ポイント増加し、「家族団らんの時」は2.9ポイント、「社会奉仕や社会活動をしている時」は1.1ポイント減少している。



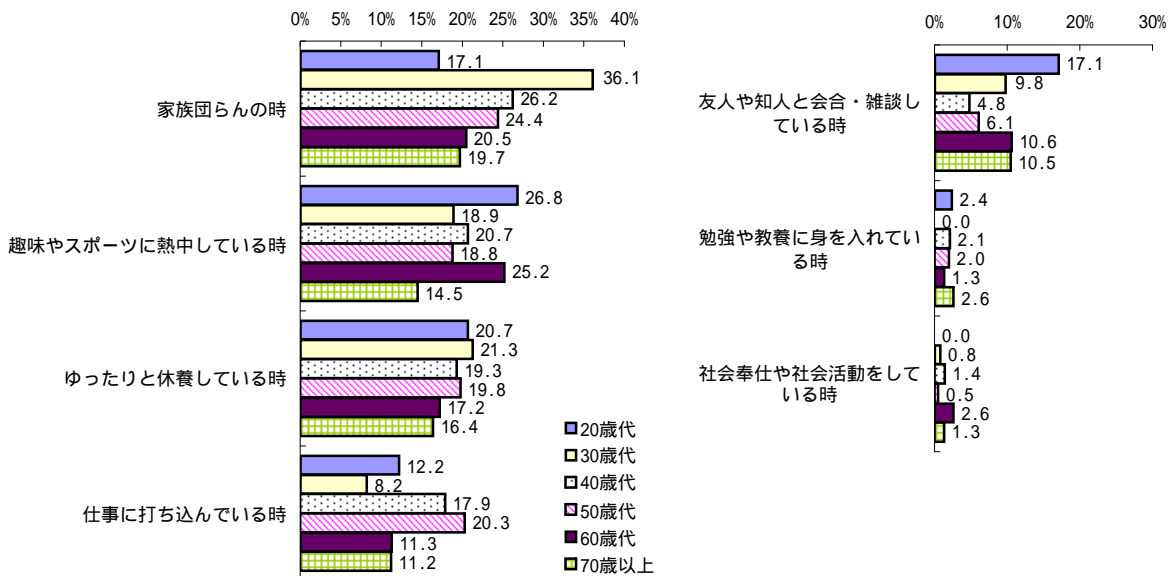
【性別】

性別にみると、「趣味やスポーツに熱中している時」や「仕事に打ち込んでいる時」と答えた人の割合は男性で、「家族団らんの時」「ゆったりと休養している時」「友人や知人と会合・雑談している時」は女性でそれぞれ高くなっている。



【年齢別】

年齢別に見ると、「家族団らんの時」は30歳代、「趣味やスポーツに熱中している時」は20歳代、60歳代、「仕事に打ち込んでいる時」は40歳代、50歳代、「友人や知人と会合・雑談している時」は20歳代で、それぞれ高くなっている。



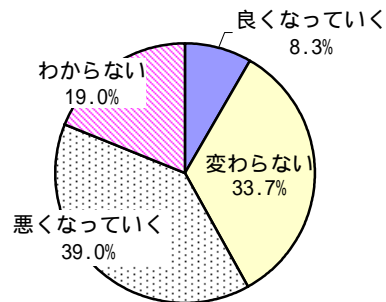
問11 暮らしの先行き観

お宅の暮らしは、これから先、良くなっていくと思いますか。それとも悪くなっていくと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(%)

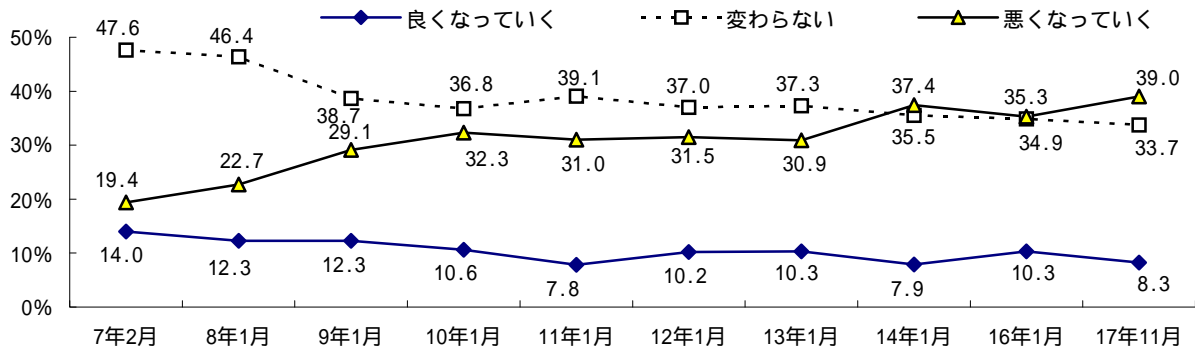
1 良くなっていく	8.3
2 変わらない	33.7
3 悪くなっていく	39.0
4 わからない	19.0

暮らしがこれから先、良くなっていくと思うか、それとも悪くなっていくと思うかを聞いたところ、「悪くなっていく」と答えた人の割合が39.0%と最も高く、「変わらない」と答えた人の割合は33.7%、「良くなっていく」と答えた人の割合は8.3%であった。



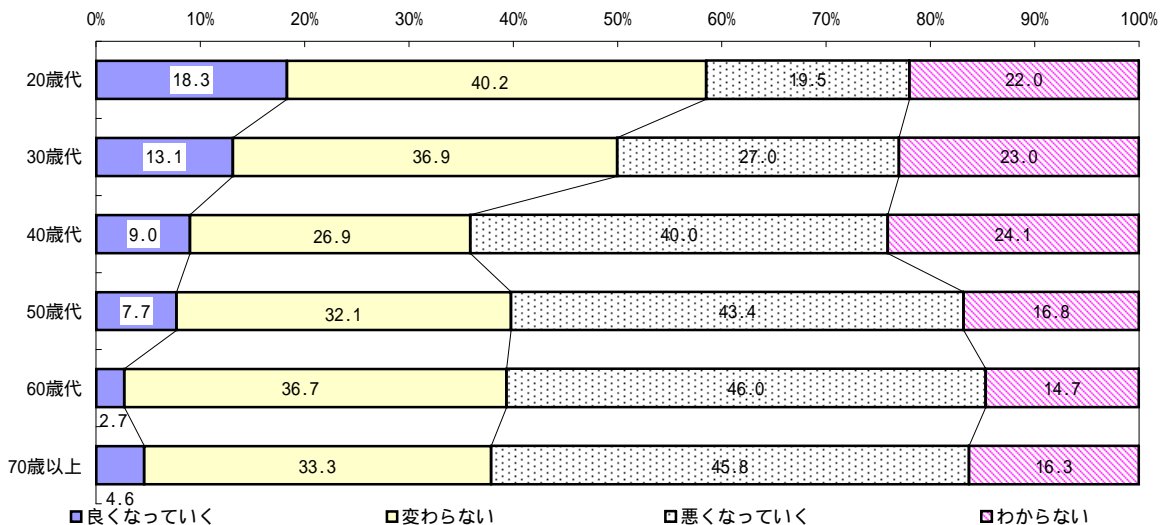
【経年変化】

経年変化をみると、「悪くなっていく」と答えた人の割合が増加傾向にあり、平成14年度調査以降「変わらない」を上回り、最も多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「良くなっていく」と答えた人の割合は概ね年齢層が低いほど高く、一方「悪くなっていく」と答えた人の割合は50歳代以上で高くなっている。また、「変わらない」と答えた人の割合は20歳代で最も高くなっている。

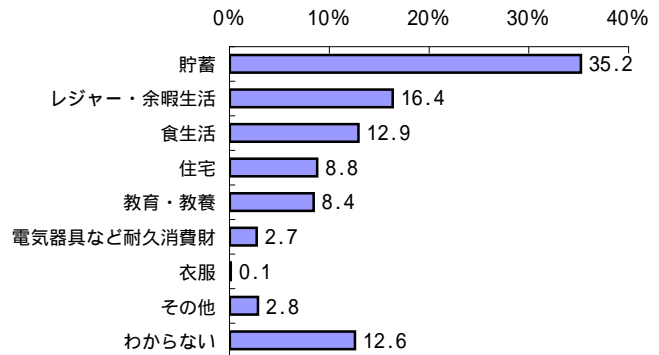


問12 改善したい暮らし向き

今後、お宅の暮らしてどのような面に力を入れたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

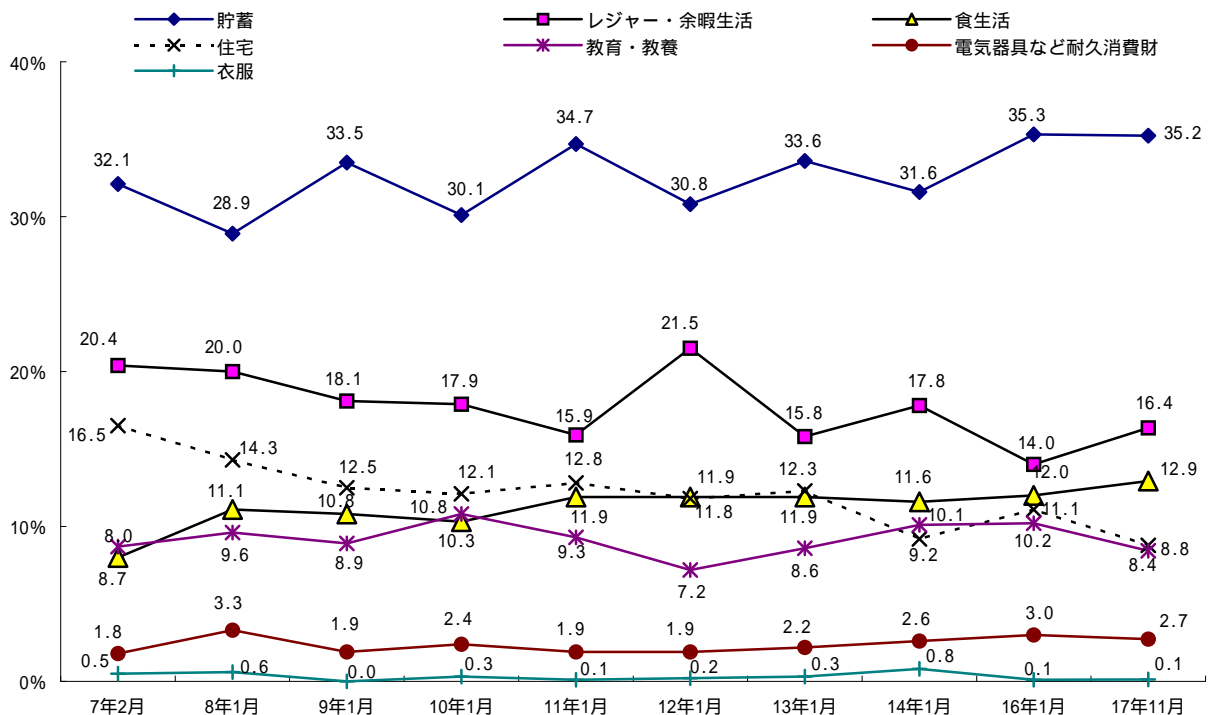
	(%)
1 食生活	12.9
2 衣服	0.1
3 電気器具、家具、自動車など耐久消費財	2.7
4 住宅	8.8
5 貯蓄	35.2
6 教育・教養	8.4
7 レジャー・余暇生活	16.4
8 その他	2.8
9 わからない	12.6

今後の暮らしでどのような面に力を入れたいかを聞いたところ、「貯蓄」と答えた人の割合が35.2%と最も高く、以下「レジャー・余暇生活」（16.4%）、「食生活」（12.9%）、「住宅」（8.8%）、「教育・教養」（8.4%）などの順となっている。



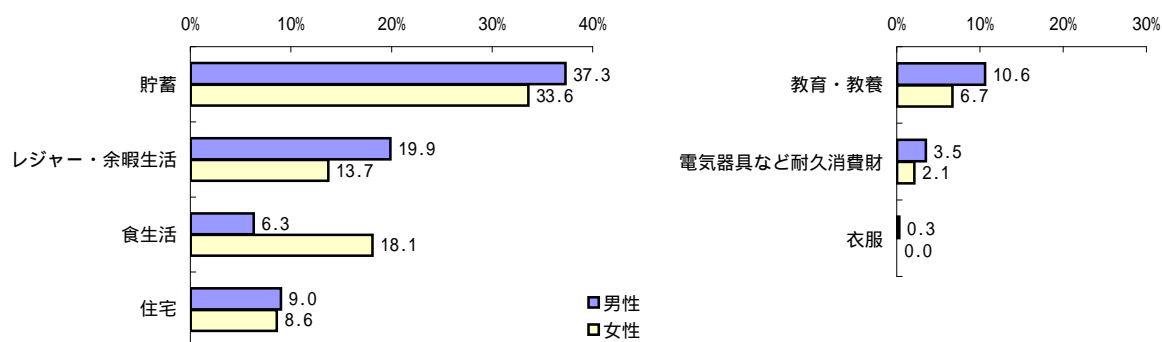
【経年変化】

経年変化をみると、平成7年調査以降「貯蓄」と答えた人が最も多く、次いで「レジャー・余暇生活」が多い。また、「住宅」が減少傾向にある一方で、「食生活」が増加している。



【性別】

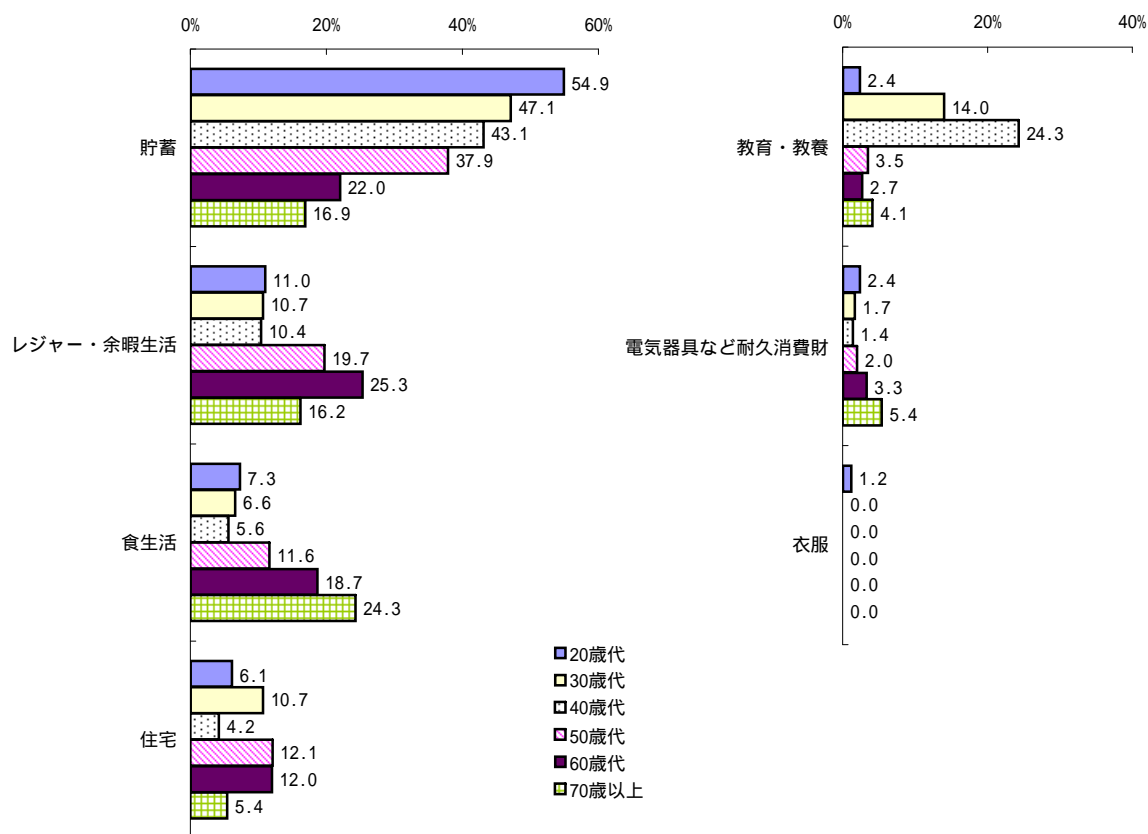
性別にみると、男性、女性ともに「貯蓄」と答えた人の割合が最も高く、「食生活」で女性の割合が高くなっているほかは、全ての項目で男性が高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代～50歳代では「貯蓄」と答えた人の割合が最も高く、その割合は20歳代（54.9%）で最も高くなっている。

また、「レジャー・余暇生活」は60歳代で、「食生活」と答えた人の割合は70歳以上で、「教育・教養」は40歳代で、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



問13 今後の暮らしに対する考え方

今後の暮らしについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(%)

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい | 24.8 |
| 2 | まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい | 21.9 |
| 3 | 一概にはいえない | 42.0 |
| 4 | わからない | 11.3 |

では、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(N = 207)

(%)

- | | | |
|---|-------------------|------|
| 1 | 精神修養・自己研さんに努める | 5.3 |
| 2 | 趣味や習い事に生きがいを見つける | 15.9 |
| 3 | 健康を大切にする | 39.6 |
| 4 | 家族・友人とのふれあいを大切にする | 30.9 |
| 5 | 社会奉仕など社会のためにつくす | 1.9 |
| 6 | 自然とのふれあいを大切にする | 5.3 |
| 7 | その他 | 1.0 |
| 8 | わからない | 0.0 |

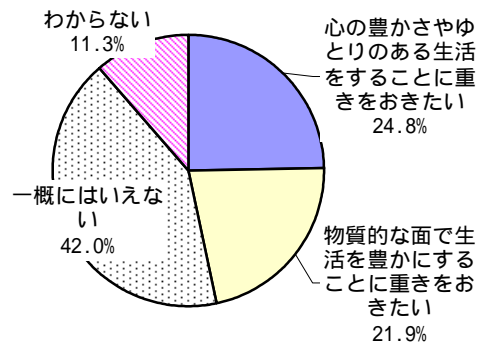
では、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(N = 183)

(%)

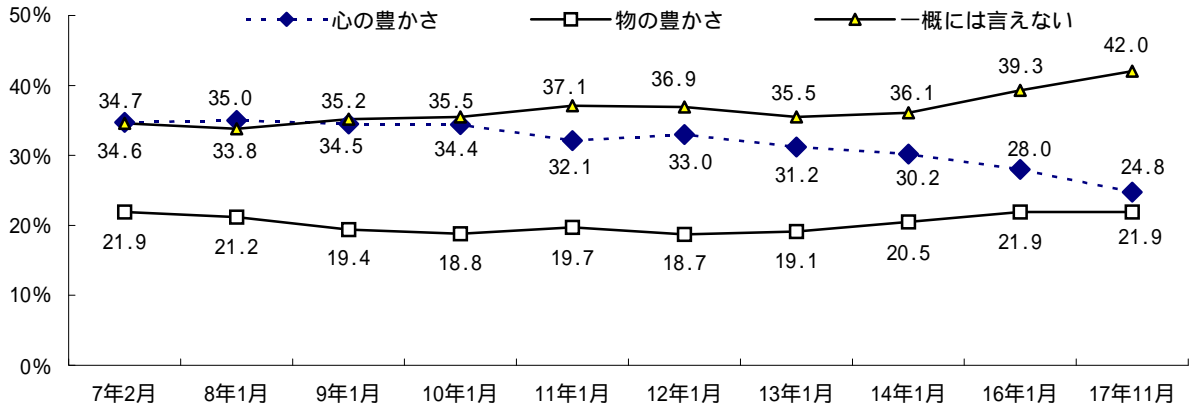
- | | | |
|---|---------------------------------------|------|
| 1 | おいしいものをたびたび食べる | 3.8 |
| 2 | 耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし | 26.8 |
| 3 | 広くて設備の整った家に住む | 33.3 |
| 4 | 趣味・娯楽に関する良いものを購入する | 17.5 |
| 5 | 衣服や身の回りのおしゃれができる | 8.2 |
| 6 | その他 | 5.5 |
| 7 | わからない | 4.9 |

今後の暮らし方として、心の豊かさ、物の豊かさか、どちらに重点をおきたいと思うかを聞いたところ、「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」（以下「心の豊かさやゆとり」という。）と答えた人の割合が24.8%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」（以下「物質的な面」という。）と答えた人の21.9%を上回っている。
また、「一概には言えない」と答えた人の割合は42.0%であった。



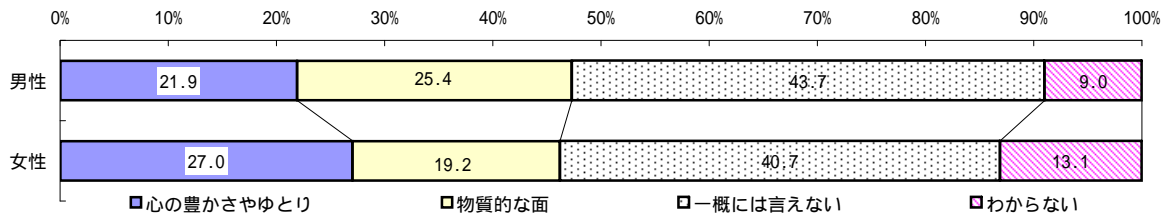
【経年変化】

経年変化をみると、「物質的な面」及び「一概には言えない」は増加傾向にあり、「心の豊かさやゆとり」は減少傾向にある。



【性別】

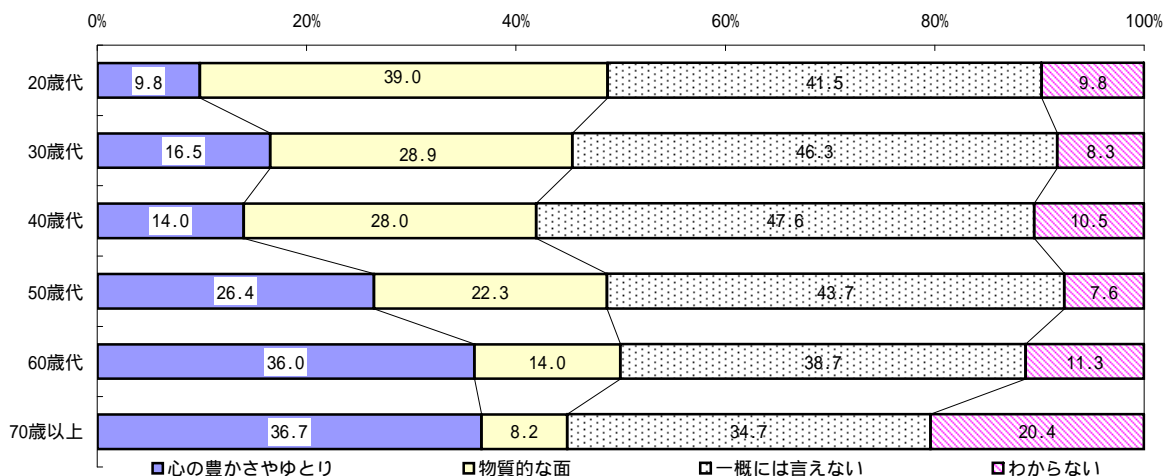
性別にみると、女性では、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合が「物質的な面」と答えた人の割合を7.8ポイント上回っており、また、男性は「物質的な面」と答えた割合の方が高く（3.5ポイント）、女性の方が「心の豊かさやゆとり」を重視する傾向となっている。



【年齢別】

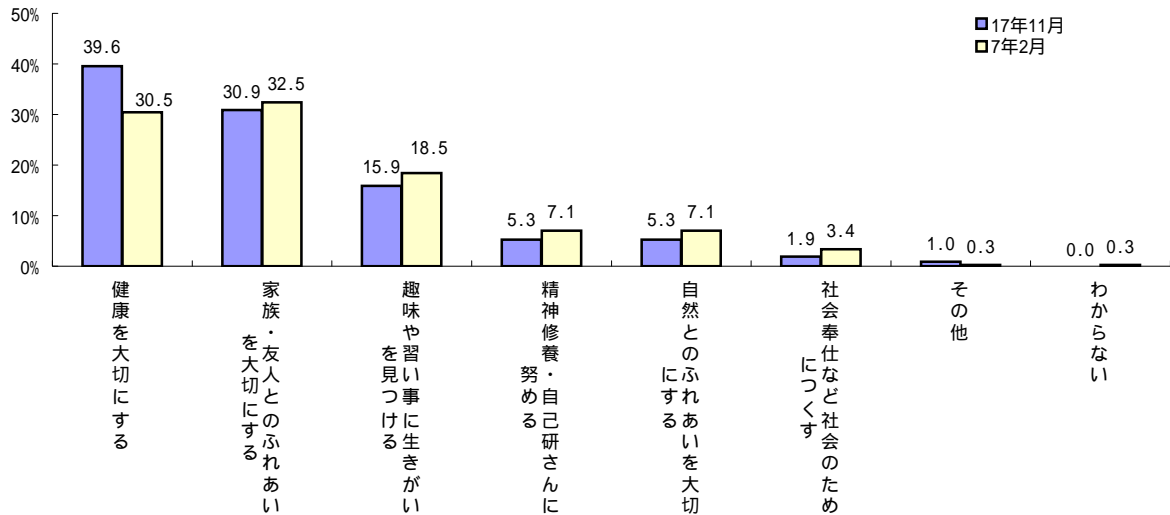
年齢別にみると、「心の豊かさやゆとり」と回答した人の割合は概ね年齢層が高いほど高くなっており、「物質的な面」は20歳代で、「一概には言えない」は40歳代で最も高くなっている。

また、40歳代以下では「物質的な面」と答えた人の割合が「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合を上回っている。



《「心の豊かさやゆとり」の具体的内容》

「心の豊かさやゆとり」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「健康を大切にする」(39.6%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「家族・友人とのふれあいを大切にする」(30.9%)、「趣味や習い事に生きがいを見つける」(15.9%)などの順となっており、10年前(平成7年)の調査と比べると、「健康を大切にする」が増加したほかは、その他を除く全ての項目で減少している。



《「物質的な面」の具体的内容》

「物質的な面」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合が33.3%と最も高く、以下「耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし」(26.8%)、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」(17.5%)などの順となっているが、10年前の調査と比べると、「耐久消費財のそろった快適な暮らし」「衣服や身の回りのおしゃれができる」「おいしいものをたびたび食べる」と答えた人の割合は増加し、「広くて設備の整った家に住む」「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」は減少している。

